

# 七夕集会

2020・07・07

記・松本

今日は七夕集会がありました。

感染予防のため、幼児のみ園庭で虫よけをしながら行いました。



①うた  
『たなばたさま』

②短冊ってなに  
細長く切った紙のこと。

うたにもあるように短冊は昔、緑、赤、黄、白、黒の5色とされていた。

笹飾りにも、貝飾りは食べ物に困りませんように。ちょうちんは心が明るくなりますようになどの意味がある。

笹の葉に飾ると織姫と彦星の力で願いが叶えられたり、みんなを悪いものから守ってくれるという言い伝えがある。

※諸説あり

～わらしべ第二保育園の短冊と笹飾り～

カラフルで色んなお願いごとが書いてあってとっても素敵です♪



③七夕のお話

昔空のお星さまの国に、天の神様と神様の娘の織姫と若者の彦星がいました。

織姫は着物の布を織る仕事をしていて働き者。

彦星は牛の世話をしているしっかり者でした。

やがて2人は結婚しました。

すると、今まで働き者だった2人は急に遊んで暮らすようになり、全く働かなくなってしまいました。

怒った神様は2人の間に天の川を作って2人を離してしまいました。

悲しくて2人は泣き続けました。

それを見た神様は、かわいそうに思い、前のようにまじめに働いたら、

1年に1度だけ2人が会うことを許してくれました。

それから2人は心を入れ替えて一生懸命働くようになったのです。

7月7日。2人が1年に1度だけ天の川を渡って会える日が七夕とされるようになりました。

※諸説あり



ひよこ組、つくし組、たんぽぽ組は集会に参加できませんでしたが、  
笹の前で写真を撮って七夕を楽しみました😊



今日の夜、空を見てみてね。

よく見てみると小さな星や大きな星、きらきら光っている星がみられるかも・・・

星がたくさん集まった天の川。その両側に輝いているのが織姫星と彦星です。

みんなのお願いごとが叶いますように・・・☆

